こんな事故にもご用心 (No.34)

事故ナイトいいね

乾燥機で乾かした衣類等から発火する事故が起こっています

タオルについていたオイルが発火

事例

老人ホーム内の電気衣類乾燥機を設置していた部屋付近から出火し、２人が死亡して２人が重傷、１人が軽傷を負った。（2008年12月　福島県）

原因

電気衣類乾燥機で乾燥させたタオルにオイルが残っていました。そのため、オイルが酸化反応を起こして発熱し、出火したものです。

【NITEの再現実験】

酸化熱でタオルが焦げてきました

発火し、燃え広がりました

美容オイル（オリーブオイル、アーモンドオイル等）、食物油、動物油等の付着したものは乾燥機で乾かさないでください。乾燥機を使用する場合は、油を完全に除去してください。油が付着したものは重ねて置かないでください。

酸化反応とは

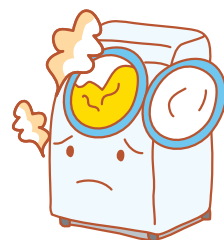
美容オイル(オリーブオイル、アーモンドオイル、グレープシードオイル等）、食用油、動物油などの油は、空気に触れると酸化して熱が発生します。この熱を酸化熱といいますが、酸化熱が蓄積して温度が上昇することで、自然発火に至ることがあります。

故障中の乾燥機が焼けた

事例

ガス衣類乾燥機が突然停止し、ガスの臭いがしたので確認すると本体側面の吸気フィルターが溶融していた。（2010年７月　東京都）

原因

故障により着火不良が発生していました。点火エラーの表示が出ているのに点火操作を繰り返したため、機器内に充満していた未燃焼ガスに点火時の火花が異常着火し、吸気フィルターを焼いたものです。

ネット不使用で洗濯機を焼損

事例

脱水乾燥中の電気洗濯乾燥機から異臭がし、洗濯槽の樹脂が溶けて洗濯物につき、焦げた。（2009年２月　兵庫県）

原因

ベッド用敷きパッドを洗濯ネットに入れずに脱水乾燥運転したため、パッドの一部が洗濯槽から飛び出し、樹脂製カバーと擦れ、摩擦によりカバーが溶融したものと推定される。
なお、取扱説明書には「毛布、カーペットカバー等は専用ネットに入れる」旨の表示がありました。

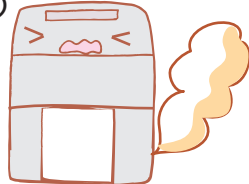
機器にエラー表示が出たら、取扱説明書に従って対応してください。また、取扱説明書をよく読んで正しく使用しましょう。

フィルターをつけ忘れて白煙

事例

除湿機の後部から白煙が出た。（2009年７月　滋賀県）

原因

除湿機にフィルターを取り付け忘れたため、製品内部に入り込んだ多量のほこりが、除湿ローターに加熱されて発煙したものです。

フィルターは必ず装着してください。また、機器内部にほこりが溜まると発火の原因になりますので、定期的に清掃をしてください。

⚠ このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

nite·製品安全センター
ナイト

製品安全調査課
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館別館
TEL 06-6942-1113　FAX 06-6946-7280